



平成 26 年度の 公開講座の実施について

研修部

1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会では、一般の方を対象にネットワークを構成する設備の紹介や実習体験を通じて、情報通信エンジニアリング事業についてのご理解をより深めていただくことを目的に、無料での公開講座を開催しています。

平成26年度は、総務省主管の情報通信月間にあわせて実施した2回とそれ以外の日程で実施した1回の合計3回開催しました。以下、その概要を紹介します。

2. 東日本研修センターでの開催

(情報通信月間にあわせて開催)

(1) 講座名

「ブロードバンドサービスを支える技術と設備」～情報通信設備の紹介と光ファイバ接続の体験～

(2) 実施日 平成26年 5月17日 (土)

13:00～16:40

(3) 参加者数 14名

(教諭、学生、自治会等)

(4) 内容

ブロードバンドサービスを提供す

る情報通信設備について、日頃目にする事がない設備の内側を紹介するとともに光ファイバ芯線接続を実際に行いました(写真1)。

主な実施項目は以下の通りです。

- 光ファイバケーブル・接続機の概要(座学)
- 光ファイバケーブル接続の体験



開講模様



光ファイバ接続体験



安全向上への取組み紹介

★情報通信月間とは？

情報通信月間は、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、電気通信市場の自由化が行われた昭和60年に設けられました。

この月間の期間中、全国各地で情報通信に関するさまざまな行事を行い、豊かで幸せに暮らせる社会を築いていく上で大きな役割を果たす情報通信について、広く皆様のご理解とご協力を求めています。

～情報通信月間推進協議会

事務局HPより～

写真1 東日本研修センターでの公開講座の様様

○施工実習

また、今回は研修施設の見学とともに高所作業車の搭乗体験等を通じて、情報通信エンジニアリング協会での「安全向上への取組み」についても紹介しました。

主な実施項目は以下の通りです。

- マンホール内における酸素欠乏の危険
- 高所作業車の搭乗体験
- 電源線接続作業における短絡の危険
- 静電気防止ツールの効果体験 等

3. 西日本研修センターでの開催

＜情報通信月間にあわせて開催＞

(1) 講座名

「電気通信設備の高度化と災害に強い設備づくり、都市環境のバリアフリー化」

(2) 実施日 平成26年6月13日（金）

13：30～16：30

(3) 参加者数 8名

（自治体、設計コンサルタント会



座学模様



ホームICT研修設備見学



電線共同溝モデル設備見学

写真2 公開講座の様相（6月13日）

社、専門学校等)

(4) 内容

主な実施項目は以下の通りです（写真2）。

- 災害とICT
- 災害に強い通信設備構築及び都市環境整備の紹介
- 無電柱化計画
- 電線共同溝モデル設備・ホームICT環境の見学

＜情報通信月間以外の日程で開催＞

(1) 講座名

「ブロードバンドを支える技術と設備技術」

(2) 実施日 平成26年8月4日（月）

13：30～16：50

(3) 参加者数 11名



座学模様



光ケーブル接続の体験



ホームICT研修設備見学

写真3 公開講座の様相（8月4日）

（大学、専門学校、一般企業等）

(4) 内容

主な実施項目は以下の通りです（写真3）。

- 電気通信の概要
- ナローバンドとブロードバンド
- 光ケーブルの概要
- 光ケーブル接続体験
- ホームICT環境の見学

4. 参加者の主な感想

参加者の皆様から以下のようなご感想をいただきました。

＜東日本研修センターでの講座＞

- ・光ファイバケーブル接続体験を通じてブロードバンドサービスを支える技術が繊細な作業の上に成り立っている事を認識できた。
- ・マンホール内入溝・高所作業車への搭乗等から安全向上に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みを理解する事ができた。

＜西日本研修センターでの講座＞

- ・「通信設備の重要性」「災害発生時における初動および復旧の重要性」「無電柱化計画」等を知ることができ非常に有意義であった。
- ・電気通信の知識・技術、情報通信産業の動向を知ることができ、将来の就職に向け活かしたい。（学生参加者より）
- ・通信技術の動向や光の接続等の現場作業のカリキュラムがとても有意義であった。
- ・これからの自身の勉強、今後の自分の営業活動に活かしていきたい。

5. おわりに

今回の開催により、多くの方に情報通信サービスを支える技術に興味を持っていただく事ができました。来年度以降も参加者のみなさんに喜んでいただけるよう、引き続き、公開講座を実施していく予定です。